



12月ほけんだより



松山市 保育・幼稚園課
令和4年度 第9号

寒くなり、感染性胃腸炎などの感染症が流行しやすい時期となりました。体調管理に注意し、こまめな換気等に心がけ元気に過ごしましょう。

～感染性胃腸炎とは～

ウイルスを原因として発症する胃腸炎です。原因となるウイルスはノロウイルスやロタウイルス、アデノウイルスなどさまざまあり、特に秋から冬にかけて流行します。

ノロウイルスやロタウイルスでは、以下のような特徴があります。嘔吐や下痢で水分や塩分が失われると、脱水状態になってしまいます。嘔吐しないことを確認してから少量ずつ水分を摂るようにしましょう。



病原体	ノロウイルス	ロタウイルス
感染経路	経口感染、飛沫感染、接触感染 ※感染者の便には多くのウイルスが排出されている。 ※感染力が強く、乾燥し空気中に舞い上がった嘔吐物を介して空気感染することもある。	経口感染、接触感染、飛沫感染 ※感染者の便には多くのウイルスが排出されているが、10～100個程度の少ないウイルス量でも感染する。
潜伏期間	半日～2日間	1～3日間
症状	主な症状は嘔吐と下痢であり、脱水を合併することがある。	主な症状は嘔吐と下痢であり、しばしば白色便となる。
登園のめやす	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること。	

※登園を再開した後も、ウイルスは便中に3週間以上排泄されることがあるため、排便後やおむつ交換後の手洗いを徹底しましょう。 ※保育所における感染症対策ガイドライン（2021年8月一部改訂版）参考

～嘔吐物の処理について～

- 嘔吐物の上から古布やペーパー等で覆い、消毒薬をその上からかける。
- 嘔吐物は外側から内側に拭き取る。
- 嘔吐した場所の消毒を行う。
次亜塩素酸ナトリウム（ハイターやブリーチなど）は、ほとんどの微生物に有効である。製品の濃度を確認し、用法・用量に従って使用する。
- 換気を行う。
- 処理に使用した物（手袋、マスク、エプロン、雑巾等）はビニール袋に入れ密閉して破棄する。



処理後は流水で手を洗いましょう。
(液体せっけんを用いて30秒以上実施)

※保育所における感染症対策ガイドライン
(2021年8月一部改訂版) 参考

自宅での洗濯について

通常の洗濯をすると家庭の中での感染拡大につながりますので、以下のことに注意して洗濯しましょう。

- マスク・手袋をした上で、バケツ等に入れ熱湯（85℃以上）をかけ、1～2分程浸す。または、ハイター等塩素系漂白剤での消毒する。ウイルスが家の中で拡散する恐れがあるため、作業は屋外でする。
- 消毒した後、普段通り洗濯する。
- 他の物と一緒に洗濯をしない。
(家族に感染させないために、別に洗濯するのが望ましい。)

